

御前崎大産業まつりに「しずぽん」と「Gタンク」登場！

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、11月24日（土）と25日（日）、御前崎市役所周辺で行われた、同市の地場産業や特産品の魅力を発信する毎年恒例の一大イベント「御前崎市大産業まつり」において、航空自衛隊御前崎分屯基地（同市）と合同でイベントを盛り上げるとともに自衛隊の活動をPRした。

イベントには自衛隊のほか、多くの地元企業等が100を超える出店を並べ、2日間で約4万人もの来場者で大いに賑わった。

自衛隊は、静岡地本が自衛官採用上限年齢が27歳未満から33歳未満へと引き上げられたことを軸に募集制度の説明を行ったほか、災害派遣活動パネルや隊員が野外行動訓練などで食べる糧食の展示などを行った。

また、静岡地本マスコットキャラクター「しずぽん」が会場に駆け付け、御前崎分屯基地からは同分屯基地司令・松本安弘二等空佐とともに、「御前崎みなと夏祭り」にも出動して人気を集めた、軽装甲機動車に乗った通称「Gタンク」が登場。来場した家族連れとふれあうなど、自衛隊エリアは憩いの場となっていた。来場者からは「戦車が好き。将来は陸上自衛隊に入って最新の戦車に乗りたい」「パイロットになるにはどのような基準があるのか。息子が興味を持ったら勧めたい」などの声を聞くことができた。

静岡地本は、今後も担当地域における広報活動を積極的にを行い、地域住民の自衛隊に対する正しい認識と理解の向上に努め、ひいては防衛基盤の強化を図っていく。



新型国産輸送機に搭乗し浜松を上空から

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は11月24日（土）、航空自衛隊浜松基地（浜松市）で実施された「C-2輸送機体験搭乗」を支援した。これは、同基地で開催される「エアフェスタ浜松」に併せて航空自衛隊の新型輸送機を体感してもらおうと、将来自衛官を目指す学生や協力者など128人を対象に行われた。

同基地エプロンには、全長40メートルを超える巨大なC-2輸送機をはじめ、2019年に静岡県内で開催されるラグビーワールドカップ記念塗装が施されたT-4中等練習機なども展示され、参加者は搭乗までの間、記念写真を撮るなど楽しんでいった。

体験搭乗時間となった参加者は、C-2輸送機後部貨物扉から機内へ。全員が座席に着席後、同機搭乗員から注意事項や機体の説明を受けた。16式機動戦闘車や地对空誘導弾ペトリオットをそのまま搭載することができる広い貨物室は、折り畳み式の座席を使えば約110人が乗り込むことが可能という説明を聞いて参加者は驚きの声を上げていった。

機体がゆっくりと動き出し、機内の流れる電光掲示板に「まもなく離陸」と表示された直後、エンジンの音が大きくなると同時に発進。横向きに着席している参加者の体は「G」を感じながら機体後方に傾き、大空へ向け飛び立った。

上空では水平飛行に入ると席を立って機内を自由に見学することが可能に。貨物室内の窓からは左に浜松市内、右に遠州灘が見え、移り行く景色に参加者は思い思いに写真を撮っていた。

フライト終了後、参加者からは「C-2輸送機の写真は見たことがあったが、実物がこんなに大きいとは思わなかった」「離陸の様子を外から見ると、あの巨体がゆっくり浮いていく様子に感動した」などの感想を聞くことができた。

静岡地本は、今後も実際に自衛隊の航空機に乗ることができるよう機会を積極的に活用し、自衛官を目指す若者に対して夢や目標を追い求めるためのリアリティを提供できるように努めていく。

